

災害に備えて避難所に関する計画を



加藤啓二議員

【議員】避難所に災害対策用情報通信として、インターネットを検討してはどうか。

【副町長】災害時の有効な通信のひとつとして、検討していく。

【議員】町のホームページに、避難場所の地図や避難経路を掲載してはどうか。

【副町長】予算が限られているが、今後は避難所の防災マップの掲載を検討したい。

【議員】避難所に、大規模災害に備えた耐震性貯水槽、耐震性備蓄倉庫の計画は。

【副町長】必要な施設であると認識している。厳しい財政だが必要な施設なので検討していきたい。

いこまい館の見直し

【議員】いこまい館に診療所がこない方針を決定された。見直しの基本方針が変わってしまうのではないか。

【企画部長】健康づくりという基本方針は変わらない。今後、診療所ゾーンは、いこまい館への移設がないことを前提にし、ゾーンの実施方針の検討に早急に入りたい。

【議員】再度アンケートはするののか。

【企画部長】行わない。

【議員】今後の実施計画は。

【企画部長】まず交流・子育て支援ゾーンにおけるつどいの広場事業で、ファミリーサポートとの総合的な運営を行う。また郷土資料館等については、再度の見直しを行う必要があると考えている。

【町長】いこまい館の見直し基本方針は変更することなく、基本コンセプトである「健康づくりの拠点」として、最小限の見直し費用で最大限の効果を生み出すよう、コスト削減を念頭におきながら、町民に負担にならないよう検討していく。

人に優しいまちづくりと公共交通網の充実



星野靖江議員

【議員】住民ニーズの多様化・高度化に対応するため、現ルートを生かした交通体制の今後は。

【生活部長】少子高齢社会を迎え、町民の足の確保は重要な施策と認識している。巡回バス路線運行による利用状況調査の結果を踏まえ、公共交通会議に諮り検討したい。

【議員】利用者や自治会の要望に対する対策は。

【生活部長】各自治会説明後は、公共交通会議で意見を集約し、住民の福祉向上をめざすよう公共交通機関の充実を図る。

【議員】将来ビジョンは。

【町長】瀬戸大府東海線を生かし、南北ルート路線の実現をめざしたい。

【議員】高齢者水中浴運動の促進を図るため、水着の抵抗感を払拭できるような紹介の必要性は。

【健康部長】水中浴は健康予防の観点から利用促進に努める。水着の紹介は要望により実施したい。

老いの支度と介護保険

【議員】介護保険に関する訪問調査票や認定審査会議事録の公開要望は。

【福祉部長】訪問調査4件。認定審査会議事録についての請求はない。

【議員】認知症短期リハビリの改正後の状況と町内の対応施設は。

【福祉部長】軽度・中度まで拡大され、家族負担軽減に効果があったが、現在、対応施設はない。

子ども広場と絵本図書館

【議員】いこまい館おもちゃルームを子どもたちが集う広場と考慮し、子育て支援の拠点計画は。また、絵本図書館併設の考えは。

【福祉部長】おもちゃルームはいこまい館見直しで子どもの集う場として、遊び場・親同士の交流の場の考えで推進。図書コーナーの設置も含め、子育て環境整備に努める。